

低発現領域、ついに解放

マイクロアレイデータの再現性は今でも重要な議論的
です。しかし、再現性に注目するあまりデータのノイズ
成分も見えなくなるような数値化が施されたデータから
本当に生物学的な意味を抽出できるのでしょうか？

遺伝子発現ネットワーク研究に革命

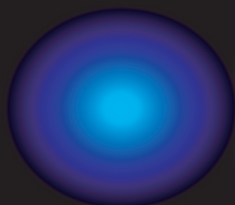
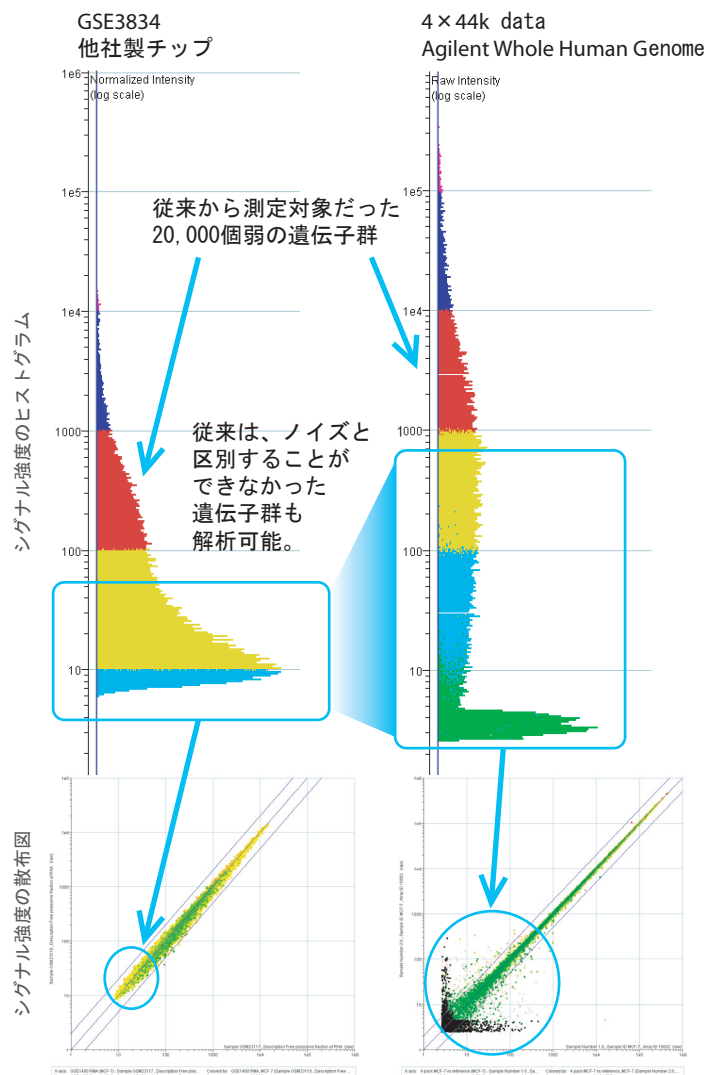
アジレントの品質へのこだわりは、ついに低発現領域の
解析を可能にしました。プローブ設計、ハイブリ条件、
洗浄条件を最適化することで、ノイズ成分を明確に分離
しながらも、シグナル成分は5ケタにわたる広いダイナ
ミックレンジと、高い再現性を示します。これにより、
これまで実質的には解析の対象となっていなかった、低
発現遺伝子の網羅的解析が、はじめて実現できるよう
になりました。シグナル伝達パスウェイの上流から中流の
遺伝子には発現レベルが低いものが多く、遺伝子発現
ネットワーク研究に新しい展開をもたらすのではないかと
期待されています。



4×44kフォーマット

1枚のスライドガラス上に、Whole Genomeタイプの
アレイが4つのっています。各アレイで別々のサンプル
を実験することができますので、大量のサンプルを使う
実験系で大幅にコストを削減できます。同一スライド内
では実験誤差がきわめて低いので、アレイ間の実験誤差
が問題となる実験系でも威力を発揮すると考えられます。
カスタムアレイも4×44フォーマットで作成できます。

Gene Expression



オミクス時代を開拓する研究者に
本当に**信頼**できるツールを提供したい。

Gene Expression
CGH
ChIP-on-chip
CpG island
miRNA



www.agilent.co.jp/chem/DNA



Agilent Technologies